

# プチフェスティバル

プチハウスは、保育所、米沢地域子育て支援センターくれよん、米沢市ファミリー・サポート・センターの三事業を営み、多くの子育て世帯にご利用いただいています。

当日は市内の子ども園、幼稚園、保育園の紹介ブースを設置し、保護者の方は、それぞれの園の特色など聞いて回ることができ、豊富な情報を得ることができたようです。

バルーンアート、人形劇、体を動かしてあそべるスペースで、たくさんあそんだり、パトカー試乗、キッチンカー（ピザ、コーヒー、わたあめ、産直野菜販売、お弁当屋さん）で好きな食べ物を買って、美味しくいただきました。子どもたちのキラキラとした笑顔がいっぱい溢れ、プチハウス子どもさんはじめ、くれよんに来所されている親子さんや、近隣の方々も自由に参加していただき、とても賑やかな時間を過ごしました。



パトカー試乗



キッチンカー



産直野菜販売



人形劇



各園紹介



バルーンアート

## 編集後記

今回の情報誌は、1年間の中でさまざまな経験を体験した子どもたちの様子や地域の方の参加も募って行われたプチハウスフェスティバルの様子を掲載しました。満面の笑み、真剣な顔、子どもたちのめんごい様子をお伝えできればと思います。これからも子どもがさまざまなことに興味をもち楽しくあそぶことができるように環境を整え温かくていねいにかかわっていきたく思います。また、今後も子育ての情報発信や地域交流の場となるようにしていきたいです。  
(編集委員 河合)

# ぷちたまご

第9号

令和2年3月  
 社会福祉法人  
 米沢仏教興道会  
**プチハウス**  
 米沢市徳町1-38-1  
 TEL 0238-26-6565



てくてく組  
のお友だち

2歳児  
クラス



こんなにおおきく  
なりました



### 自分を信じる力

プチハウス園長 塚本正憲

ここ数年、世界では、10代20代の才能豊かな創業者やアーティストが多く出現し、世の中を変革しています。例えば、マーク・ザッカーバーグは、「Facebook」を弱冠20歳で創業しています。日本はというと権威主義で同調圧力が強く、個性が育ちづらい土壌であるせいか若い世代の活躍が封じ込められているように感じます。

しかしながら、日本人でも成功した人がいない訳ではなく、人と異なる事を恐れず、自分の意見を持った人物が成功を収めています。(※ 成功=財産の有無ではなく、自分の納得した人生を歩み、それに満足しているかどうか) 共通する事は「自分を信じる力」があるかどうかではないでしょうか。

今までの日本は、同じ思考と行動を求められ、自己の思考が停止状態でも生きられる社会でした。しかし、これからは社会が大きく変化し続け、予想しづらい未来になります。だからこそ、「自分を信じる力」が大切になっていきます。自分の頭で考え、自分で決めて、自分から行動する事が必要です。

プチハウスの子ども達は、まだまだ小さいです。そして、「自分を信じる力」を育むには、たくさんの人から可愛がられる経験が必要です。子ども達がプチハウスにいる間は、私たち職員全員が全力で可愛がります。そして、ご家族の皆様は、子ども達が厳しい社会を生き抜くため、たくさん抱きしめて可愛がっていただきたいと存じます。そして、子育てを共に楽しんで参りましょう。



だいすきな おともだちと  
 だいすきな ばしょで  
 いっぱいあそんで おおきくなったよ！

友だち同士、いつも一緒に過ごす心地よさ。興味をもったことに、  
 十分な時間を費やすことのできる毎日の中で、子どもたちは自ら大きく成長しました。



〜 おててをつかって... ー

「何したな〜？」とお友だちがあそんでいると興味を示して、真似てやってみようとする姿が見られ、楽しいあそびの中で指先を動かす経験も増えて、繰り返し楽しんでいる子どもたちです。



〜 やってみよう〜

「これなんだろう」いろいろなものをじっと見て、「どんな感じかな」いろいろな感触にそっと触れて、ワクワク感を身体いっぱいを感じる毎日。「自分でやってみよう！」とする意欲、「じぶんでできた！」という達成感。嬉しいな。



〜 一緒にたのしいね〜

大好きな友だち、年上のお兄ちゃんやお姉ちゃん、自分よりも小さいお友だちとかかわり合いながら、「お兄ちゃんってすごいなー」「赤ちゃんってかわいいな」と感じ、一緒に過ごすことを喜んでいます。

